

事務事業評価シート

(H.28)No.	1045	(H.27)No.	1045
-----------	------	-----------	------

事務事業名	訪問理美容事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	介護・高齢支援室	宮崎 正秀	

会計区分	事業コード	142401
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	訪問理美容事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 老人福祉費	訪問理美容事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本施策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	1	高齢者福祉
	小施策	3	保健福祉サービスの充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
老衰、心身の障害等の理由により、理髪店等へ出向くことが困難な在宅の高齢者に対し、理容サービス等を提供することで在宅の高齢者の快適かつ衛生的な生活の保持を図る。
事業内容
要介護4及び5と認定された在宅高齢者で、理髪店または美容院へ出向くことが困難な対象者に対し、居宅を訪問し、理容サービス又は美容サービスを提供することで衛生保持に努めることに寄与する。 利用回数は年6回／人を限度とし、出張費1千円／回を市で負担する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・1,000円×17回=17千円 利用人数 5人	・1,000円×6回／人×8人=48千円	・1,000円×6回／人×8人=48千円	・1,000円×6回／人×8人=48千円	・1,000円×6回／人×8人=48千円

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	17千円	48千円	48千円	48千円	48千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 17	48	48	48	48
人工数					
職員	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人
臨時職員等	0.04人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
②概算人件費	(0千円) 600千円	617千円	617千円	617千円	617千円
①+②総事業費	(0千円) 617千円	665千円	665千円	665千円	665千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
高齢者福祉サービス(介護保険外市独自サービス)として、高齢者の在宅生活の継続に寄与している。	引き続き、事業の啓発に努め、対象者に対し適切なサービスに努める。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	理髪店又は美容院へ出向くことが困難な高齢者の保健福祉サービスの一翼を担っている。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に係る主な市の計画
老衰、心身の障害等の理由により、理髪店又は美容院へ出向くことが困難な住宅の高齢者の快適かつ衛生的な生活の保持には継続が必要である。	